

金沢の地層から 列島形成を研究

金沢で講演会

北陸の地層を研究している金沢大学の塚脇真二教授（地質学）による講演会「日本海の歴史を金沢の地層にたどる」が6日、金沢市銚子町の県立自然史資料館で開かれ、市民ら53人が参加した。

塚脇教授は、今から約2000万年前、日本列島がアジア大陸から切り離されて形成されていった過程な

どを解説。金沢は日本海の真ん中に位置し、古い地層が残っている地域だとし、**「日本海などの長期的な変化の研究に適している」**などと語った。

参加した同市法島町の西村大生君（11）は**「学校で地質を学んでおり、断層の話なども聞けて勉強になった」**と話していた。



日本列島が形成された過程などについて語る塚脇教授